



東小だより

矢巾町立矢巾東小学校

令和4年6月3日

第2号

あきらめず

全力パワーで かけぬけろ

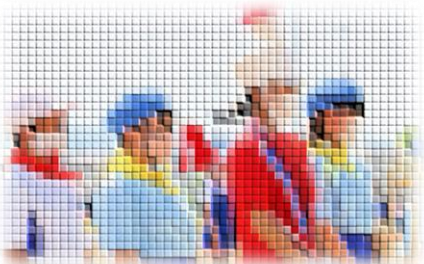
運動会 大成功！

今年度は天候にも恵まれ、無事運動会を成功裏に終えることができました。

今年もコロナ禍での開催となりました。感染対策を施しながら、子どもたちのやる気、達成感や充実感を味わわせるため、昨年同様の種目数での実施となりました。

特に、5・6年団体の「マーチング」は、例年と比べ少ない練習期間での実施となりましたが、子どもたちの自主的な練習により見事な演奏を披露してくれました。いざというときの集中力に感心しました。

競技・演技・係活動・応援にと、スローガン通り「全力パワー」を出し切った運動会でした。この運動会で身に付けた力を学習や学校生活の中で生かしてほしいと思います。



今年も田植えができました！

今年も昨年度と同じ5月25日に5年生恒例の田植えがありました。開校以来お世話になっている昆さんを中心とした地域の方々や矢巾地域営農センターの方々の指導をいただきながら手植えを行いました。今年は、保護者の方々にもご協力をいただきました。ありがとうございました。

足に感じる田んぼの感覚、田んぼの匂い、そして手で苗を植える感覚と体験。子どもたちにとって貴重な体験となりました。

今後は、案山子作り、収穫したお米を使っでの収穫祭や調理実習を行っていく予定です。

5年生の体験学習をコーディネートしてくださる地域の方々、本当にありがとうございます。

ちょっと 得だネェ！

学校には、いろいろな約束（きまり）があります。「廊下を走らない」というきまりは、「廊下」という場所を限定して「走る」という行為を禁じたものです。ここで、「走るのは元気が良い」「廊下ぐらひは、子どもだから大目に見ても良いのではないか」という考えで指導したのでは、きまりがどんどんゆるくなり、そこに居る集団は、勝手に走り回り、他の人のことを考えない集団となってしまいます。

「廊下を走らない」は目のねらいであって、実は「自分の行動にブレーキをかけ、他の人のことも考える人間を育てる」という大きなねらいが秘められているのです。

「心にブレーキをかける力」を育てるために、小さな約束から始めましょう。

(校長室の窓から…野口晃男 編著より)